

医療従事者のためのオンライン講座2022 第3回「アナフィラキシー対応と緊急気道確保方法について」

宮城県内の医療従事者に向けた、医療従事者のためのオンライン講座2022年の第3回目は「アナフィラキシー対応と緊急気道確保方法について」というテーマで東北医科薬科大学病院救急科の遠藤智之先生にご講演いただきました。



東北大学クリニカルスキルスラボ主催
医療従事者のためのオンライン講座2022



アナフィラキシー対応と 緊急気道確保方法について

東北医科薬科大学病院救急科
遠藤 智之

COI：宮城県救急医療研究会学術集会の告知があります



ANAフィラキシー対応と緊急気道確保の方法について (2022.09.13)

気道確保困難時は…

- とにかく**経験豊富な医師**を呼ぶ。
- **あらゆる気道確保デバイスと吸引**を準備する。
(できればDAMカートの用意を)
- 輪状甲状間膜を触診しておく。
- バッグマスクに“呼気CO₂センサー” (カプノメーター) を付け、SpO₂よりも**呼気CO₂モニタリング**を重要視する。
- 適切な頭部の**ポジショニング**に努める。
- **2人法でバッグマスク換気**を行う。
- 挿管に固執しない。